

緊急事態宣言の 延長と対応

市長 明智忠直



世界中を恐怖と不安のどん底に引き込んだ新型コロナウイルス感染症。日本でも未曾有の緊急事態宣言が全国に発出されました。例年多くの人でにぎわう大型連休も、各地でレジャーや行楽を控えている様子がマスコミなどで報じられ、人との接触を8割減らすという目標に届いたのではと評価しております。その上で5月4日に期間延長が総理から発表されました。この期間内に国民が一丸となって、この戦いを終わらせるんだという強い思いを感じたところでもあります。とはいえ、二か月にわたって外出の自粛や制限を余儀なくされていた中での期間延長は、大変な苦痛であったと思います。ある心理学者によると、人の緊張や我慢の継続は2か月程度が限界であり、自粛要請などには、全体の2割が積極的に協力し、6割がいれば続け、2割が我が道を行くといわれており、我慢も限界にきていたものと感じて

おります。市民の皆さまの粘り強い努力が、収束へ向かうこの状況を維持させているものと思います。

国や県では大規模な経済対策を実施し、国は一年間の国家予算に匹敵する事業規模で、支援を行っているところでもあります。この支援が一刻も早く皆さまの手元に届くことを願っております。

旭市も独自の支援策として、5月15日号の広報にも掲載しましたが、過去最大の市民への支援策を実施いたします。全世帯へ一律給付する「旭市元氣回復特別給付金」子育て世帯を応援する「旭市就学前児童臨時給付金」小中学校給食費の6か月間免除「市外小中学校等在学児童生徒臨時給付金」のほか、コロナ禍により大きな影響を受けた事業者への「旭市飲食店等緊急支援給付金」などにより、市民の皆さまが安心して暮らせるよう、精一杯取り組んでいくところでもあります。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／18日(木)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「銀花の蔵」



遠田潤子 著
(新潮社)

ざしきわらし座敷童が出るという老舗の醤油蔵で育った銀花は、家族を襲う数々の苦難と秘められた過去に、自分の道を歩き出す。

「空の声」



堂場瞬一 著
(文藝春秋)

体の不調を抱えながらも、ヘルシンキ五輪で現地から日本を鼓舞する中継を懸命に続けた伝説のアナウンサー和田信賢の魂を描く。

新着図書

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| ● 職人の手 (山崎真由子) | ● 天栗 (幸田真音) |
| ● 全予測 2020年代の日本 (河合雅司) | ● 焦眉 (今野敏) |
| ● 障がい者だからって、稼がないと思うなよ。 (姫路まさのり) | ● ダーク・ブルー (真保裕一) |
| ● こんな、季節の味ばなし (平野恵理子) | ● 女神のサラダ (瀧羽麻子) |
| ● 怖くて眠れなくなる天文学 (縣秀彦) | ● 逃亡者 (中村文則) |
| ● i P S 細胞の研究室 (志田あやか) | ● 緋色の残響 (長岡弘樹) |
| ● 動物の看護師さん (保田明恵) | ● 紳士と淑女のコロシム「競技ダンス」へようこそ (二宮敦人) |
| ● 卵・乳製品・小麦粉なし 作ってあげたい子どものおやつ (桑原奈津子) | ● できない男 (額賀滯) |
| ● 画家とモデル (中野京子) | ● クスノキの番人 (東野圭吾) |
| ● 万葉集愛の100首 (中西進) | ● 魔女たちは眠りを守る (村山早紀) |
| ● 絶対猫から動かない (新井素子) | ● 暴虎の牙 (柚月裕子) |
| ● 木になった亜沙 (今村夏子) | ● これでもいいのだ (ジェーン・スー) |
| ● 罪人の選択 (貴志祐介) | ● 時代へ、世界へ、理想へ (高村薫) |
| ● 怖い患者 (久坂部羊) | ● いかがなものか (群ようこ) |
| | ● 銀をつむぐ者 (ナオミ・ノヴィク) |
| | ● リスからアリへの手紙 (トーン・テレヘン) |